

産業用ロボット操作研修

コスモ技研 顧客の技術者を対象

【名古屋】コスモ技研（愛知県小牧市、五十嵐宏一社長、0568・71・6571）は、顧客

の技術者を対象とした産業用ロボットの操作研修を10月に始める。安全対策や基本的な操作手順などに加え、顧客の現場における使い方に応じたロボットの取り扱い方も伝授する。ロボットメーカーによる操作研修とは異なり、エンジニアリング会社が教えることで「よ

り現場に即した知識や技能が身につく」（五十嵐社長）としている。産業用ロボットの作業者は、法律により講習の受講が義務づけられている。コスモ技研による研修は法律で義務づけられている講習と独自の実践的な講習で構成する。講習時間は4日間32時間を基本とし、参加費用は1人当たり11万円。2日間コースも用意する。

が認定した産業用ロボット特別教育インストラクターの資格を持つ同社技術者6人が講師を務める。企業の生産技術担当者が現場技術者らが対象。実際に顧客に納入するロボットを使って、操作方法、プログラミングやメンテナンスの手法をマンツーマンで教える。

対象のロボットは当面、ファナック製とドイツのKUKA製。他メーカーのロボットは三陸

カーの機種も順次対象とする。省人化に向けた最適な設備の構築方法など顧客が学びたいテーマに沿った講習も追加できる。

同社は食品・医薬品メーカーなど向けの工場設備エンジニアリング会社。講習は新規事業として始める。また、講習によって顧客に対するサポートが充実でき、エンジニアリング事業の受注拡大にもつながる。

清掃している。中には同社（佐野社長）という。ダイバーからの要請もあり、新品を含め計3台の同

東亜潜水機（東京都荒川区、佐野弘幸社長、03・3803・2253）のエンジニアリング

中央労働災害防止協会

土製コノプンツナーが三陸

大にもつながる。

支援

東亜潜水機（東京都荒川区、佐野弘幸社長、03・3803・2253）のエンジニアリング

清掃している。中には同社（佐野社長）という。

ダイバーからの要請もあり、新品を含め計3台の同

土製コノプンツナーが三陸

中堅ゼネコンが採用
 つくし工房の安全標識
 心理学取り入れ効果

つくし工房（東京都板橋区、星野照生社長、03・3977・3333）が販売する建設現場用の安全標識「つるしん方メッシュユー」が、中堅ゼ